



議会だより な お し ま

2018 No. 183
平成30年4月10日

発行●香川県直島町議会
編集●議会広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)



先生ありがとうございました (3月14日 小学校)

- 本格的な行財政計画(平成30年度予算)…………… 2～5 P
- 他の屯所も計画的に(町長・教育長報告)…………… 6・7 P
- 入院収入の減額はなぜ(平成29年度予算補正)…………… 9 P
- 危険な道路・溝からどう守る(一般質問)……………10P
- 手を抜くと増えるんです(がんばりよるで)……………12P

行財政改革

更なる
行革を



濱中町長

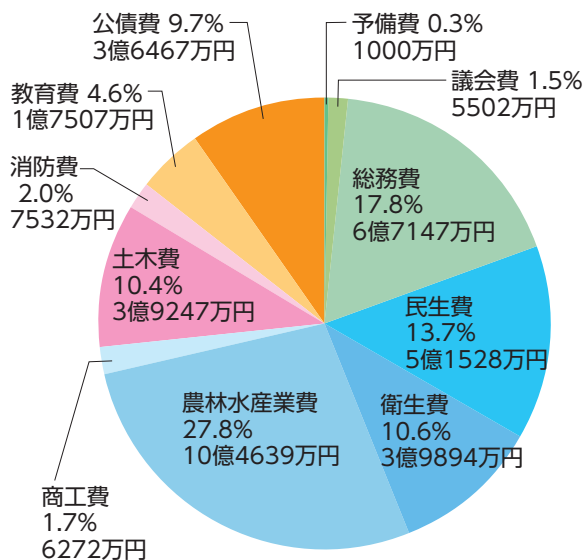
3月定例会を8日から開催。

平成30年度予算など議案29件・報告1件を慎重に審議し、全員賛成で原案どおり可決・承認しました。

人口増加対策の一環として、宅地造成に関する特別会計を新たに設けました。

一般会計・特別会計など予算案に対し、活発な質疑を行い16日に閉会しました。

一般会計款別構成表



歳出(支出)

※数字は四捨五入していますので、合計が一致しないことがあります。

平成30年度予算総括表

会計	予算規模(万円)	対前年度比(%)
一般会計	37億6738	7.9
特別会計	国民健康保険事業	4億6841 ▲6.6
	介護保険事業	3億9809 4.4
	診療所事業	2億6745 0.5
	後期高齢者医療事業	5831 5.9
	離島飲料水供給事業	128 ▲3.2
	下水道事業	3億9244 18.0
	釣公園事業	951 ▲42.2
	宅地造成事業	6279 皆増
小計	16億5829 6.7	
簡易水道事業	8億2220 5.9	
合計	62億4787 7.3	

簡易水道予定量 給水戸数 1,774戸
一日平均給水量 4,648m³



資源化施設管理委託

衛生費



文教区集会所建設予定地

総務費



松くい虫防除 樹幹注入

農林水産業費



福祉有償車輛

民生費

こんな事業に
使います

平成30年度一般会計予算 37億6738万円

本格的な

予算大綱

主な質疑

行財政改革の中身は

Q (浜口) 来年度は特に行財政改革に取り組むとのことだが、具体的にはどのようなものか。

A (町長) 本年度の行革プロジェクトの中で、多くの問題点が出たので、一部は移管に着手した。新年度は、事務事業の見直しなど本格的に検討したい。

移住・定住対策は

Q (西岡) 移住・定住促進や、人口減少対策は。

A (町長) サテライトオフィス誘致制度は作ったが、活用されていないので、町外に向けても周知徹底を図りたい。

魅力的な返礼品は

Q (浜口) ふるさと応援寄附金の返礼品で何か魅力的なものは

ないか。

A (町長) 当初、ハマチ・ヒラメを考えていたが、生鮮物で難しい。今後、可能なものがあれば追加したい。

公園の遊具充実を

Q (小野) 子どもの遊び場である公園の遊具を充実しては。

A (町長) 新年度は老朽化したものを優先して改善する。今後は、現場調査のうえ考えたい。

どじょうの夏まつり

Q (浜口) 停滞ぎみの夏まつりの助成金を、火まつりに使っては。

A (町長) 来年度は花火を中止し、踊り連への助成もやめ、会場設営に使う。踊り連については、従来どおり自治会にお願い

したい。

子どもを増やすには

Q (丸山) 子どもの人数を増やすには、保育料・授業料・給食費など無料化が必要では。

A (町長) 給食費は無料化にしたいが、財源がなく、小さい町村では難しい。他町の事例も参考に、考えたい。

インシシ対策を真剣に

Q (井下) インシシの捕獲免許所持者が少ないのは、危険な作業のうえ、報償費の問題もある。関係者と協議しては。

A (町長) 来年度も予算を組んでおり、増員を呼びかけたい。

大切な医師確保を

Q (小野) 診療所の医師確保について考え方は。

A (町長) できれば1人は町で、1人は県派遣を考えている。可能なかぎり現状を維持

商工費



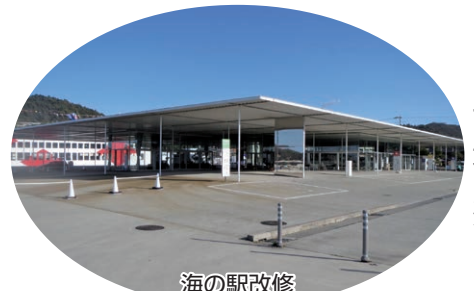
つづじ荘のトイレ改修

消防費



新しく備蓄倉庫を建てます

土木費



海の駅改修

教育費



小学校プール改修

したい。

新たな宅地造成は

Q (丸山) 積浦地区につづく住宅対策

は考えているか。

A (町長) 積浦に12区画造成し、その売れ行きを見て考えたい。

ドローンの性能は

平成30年度予算

一般会計

主な質疑

大幅増額の用途は

Q (蓬) 応援寄附金を大幅に増額しているが、用途はあるのか。

A (まち観課長) この数年増えており、今後も伸びると予想している。

赤字の原因は

Q (浜口) 社会福祉協議会が運営しているサロンが赤字と聞いているが、原因は。

A (町長) 町内に飲食店が多数できたためだと思う。団体客は増加しているが、個人客は減少している。

登録者の増加努力を

Q (丸山) 福祉有償運送の登録可能者は何人いるのか。該当者の割に登録者47人は少ない。もっと周知しては。

A (住民福祉課長) 280人程度いる。個別に面談したり、社協

だよりで年1回は周知している。登録者の増加に努めたい。

人員減で大丈夫か

Q (石川) 環境整備班は1人減員になる。これまでと同様のことができるのか。

A (環境水道課長) 5人で行っていたことを4人でやることになる。作業員はやれると言っている。様子を見て

検討する。

暑さ対策は

Q (石川) 直島港ターミナルの暑さ対策予算は計上されているか。

A (建設経済課長) 平成29年度予算で換気扇を設置する予定だ。

ドローンの性能は

Q (浜口) ドローンはいろいろなことに利用できるが、性能・



急がれる暑さ対策 (直島港ターミナル)



いろいろ利用できるドローン

利用規定・訓練は。

A (総務課長) いずれも秒速だが、最大上昇速度は6m、最大下降速度は4m、最高速度は20mで、最大高度150mで映像で状況が確認できる。利用規定は今後検討し、技術指導は購入時に受ける。

予算の内容は

Q (井下) 小学校費での臨時賃金の内容はどうなっているのか。

A (教育次長) 用務員1人、特別教育

支援員3人、学校図書館指導員1人の賃金であり、新規の学校図書館支援員は読書の意識を高めるために啓発や環境整備を行う。中学校費にも計上している。

交流先と引率者は

Q (蓬) 国際交流推進協議会の海外研修での交流先と引率者は。

A (教育次長) 交流先は例年どおりイギリスでグラスゴー、エジンバラ、ロンドンを設定。引率は未定だ。



宮ノ浦雨水ポンプ場建設予定地

宮ノ浦雨水ポンプ場 供用開始は

特別会計

主な質疑

(後期高齢者医療事業)

軽減特例見直し

(石川) 保険料軽減特例の見直し業務の内容は。

Q (住民福祉課長)

A 所得の低い方には特例により本則で定める以上の保険料軽減措置を行ってきたが、財政事情によりこれを取りやめ本則の取扱いに戻すものだ。

(下水道事業)

供用開始は

Q (浜口) 宮ノ浦雨水ポンプ場整備工事は平成30年度で完了する予定だが、供用開始はいつになるか。

A (環境水道課長) 平成31年4月以降だ。

Q (石川) のり養殖との関係があると
A (環境水道課長) 思うが。

A (環境水道課長) 土木工事は、のり

養殖が始まる前に完了させ、その後電気工事を年度末まで行う。

(簡易水道事業)

漏水調査の方法は

Q (浜口) 第2海底送水管の漏水調査の方法は。

A (環境水道課長) 玉野市・直島側のメーターの目視、周辺の状況調査などを実施する。職員にできることもあるが、報告書は専門業者に作成してもらう。

Q (丸山) 詳細設計の内容は。

A (環境水道課長) 玉野市田井の配水池から高辺までの送水管は布設後50年近く経っている。玉野市から布設替えの申し出があり詳細設計に対する負担だ。

離島飲料水事業を移行

Q (小野) 認可変更の内容は。

A (環境水道課長) 屏風島は離島飲料水事業だが、これを簡易

水道事業へ移行させるため申請をする。

討論

一般会計

賛成(井下)

他にはない魅力ある町づくりを積極的に進めていくことを要望する。

特別会計

診療所事業

賛成(井下)

職員が危機感を持って一丸となり、経営改善に向けて今後さらに努力することを要望する。

釣公園事業

賛成(井下)

長年一般会計からの繰り入れで運営してきた。縮小した運営になるが、サービス向上で来園者増となるよう要望する。

監査報告

最少の経費で
最大の効果を上げるよう望む

監査委員 大林 清

小野 孝一

本年度の財政事情は、景気が緩やかに回復しつつあるものの、引き続き社会保障関係費の自然増、公債費が高い水準で推移すること、診療所会計、下水道会計への繰り出しが多額で、楽観視できない。経費の節減、合理化、公共事業計画の再検討など、費用対効果を重視した事業を実施するよう願う。

国保税の滞納は重要な課題

国保会計は、1人当たり、1日当たりの医療費が県内市町で最も高い。医療費の適正化については、特定健診等の充実をはかり、医療費の抑制強化に努め、税の滞納整理等、なお一層の努力を望む。

創意工夫を凝らした経営を

診療所会計は、一般会計から多額の繰り入れで対処している。この繰り入れをいかに少なくするかが最大の課題である。継続的な健全経営が行えるよう関係者一同の努力を望む。

住民に十分な理解をもらえよう

下水道会計は、浄化センターなどの機器・設備の更新など、長寿命化工事が施工されている。また、宮ノ浦雨水ポンプ場整備事業や下水道事業の維持管理に係る経費、公債費が重い負担になっている。経費の適正な執行に努めるとともに、供用開始地域における水洗化率を100%に近づけるよう、なお一層の努力を望む。

他の屯所も 計画的に



濱中町長

徐々に更新したい

(主なもの)

- 12月2・3日 出合い隊第27弾を「つつじ荘」他で開催、男性13人女性12人が参加、ベスト1カップル2組、ベスト3以内カップル3組が誕生しました。
- 12月20日 町と県との意見交換会に大山政策部長他が来庁されました。
- 1月6日 福武財団の福武理事長が年頭の挨拶のため来庁されました。
- 1月14日 消防団出初式が中学校グラウンドで開催されました。
- 1月18日 ミズノ展示会がインデックス大阪で開催されました。
- 1月19日 四国汽船(株)新造船「あさひ」の進水式が愛媛県今治市の(株)藤原造船所で執り行われました。
- 2月5日 小型動力ポンプ付軽消防自動車受納式を直島ホール他で執り行いました。
- 2月26日 消防団第5分団屯所竣工式を現地で執り行いました。
- 2月27日 国土交通省の佐藤離島振興課長が視察のため来庁されました。

主な質疑

県とどんな話が
あったのか

Q (蓬) 県との意見交換会の内容は。

A (町長) 宮ノ浦雨水ポンプ場整備事業、浄水場の更新工事等、要望していた内容の回答で、これまでどおり支



強風でこわれた直島港浮桟橋

県道の狭い場所を

Q (松島) NTTと旧山本製麺所間の県道が狭く、何とかしてほしいとの声がある。

A (町長) 現在県と協議している。

早急な修理を

Q (井下) 直島港の浮桟橋が先日の強風でかなり動いた。早急な対応を。

A (町長) 現在県と協議している。

援したいとのことだった。

A (建設経済課長) チェーンが2本切れた。至急直すよう県と協議している。

何か新しい提案は

Q (浜口) 福武氏の挨拶で新しい提案はあったか。

A (町長) 新美術館を検討しているようだ。

ミスノとの協定は

Q (浜口) ミスノとの包括協定、今後

何をやるのか。

A (町長) スポーツ教室の講師派遣等、既存の予算でできるものを考えている。

屯所の更新、計画的に

Q (井下) 5分団の新屯所は大変ありがたい。他の屯所も計画的に検討を願いたい。

A (町長) 他の屯所の関係もあるので、徐々に更新していきたい。



新しくなった第5分団屯所



原教育長

直島は
廃止しない

部活 廃止になるのか

(主なもの)

- 12月7日 議会定例会が開催され、中2生徒が議会見学で傍聴しました。
- 1月6日 成人式が直島ホールで開催されました。
- 1月24日 教育委員会が開催されました。
- 1月25日 スポーツ推進委員定例会が開催されました。
- 1月30日 総合教育会議が開催されました。
- 2月2日 文化財保護審議会が開催されました。
- 2月7日 人権・同和教育推進協議会が開催されました。
- 2月9日 玉野市の石川教育長、学校教育課と社会教育課の課長補佐等4人が、小学校の英語教育視察等のため来訪されました。
- 2月28日 定例教育委員会が開催されました。議題は、①教育長報告②平成30年度予算に係る教育委員会の主要事業等③直島ホールの利用規定の変更について④全国体力運動能力・運動状況調査の結果等でした。

主な質疑

新規事業とは

Q (丸山) 英語教育充実の新規事業の
中身は。

A (教育長) 5・6
年が教科化され、
中学校の英語教員が小学
校に行く。

本来、中学校の授業を
すべき時間が多くとられ
るため、県から1人ない
し0・5人の教員を補充
する事業だ。

部活が廃止になるのか

Q (蓬) 新聞で教員
の働き方改革の記事を見た。教員は学科教育以外にも、いろいろな仕事があり、忙しく大変なので、部活を廃止したらと載っていたが、教育委員会の考えは。

A (教育長) 教員が
土・日も部活動を
見ているので大きな負担
になっているが、本町に
おいては、複数の教員で
上手く負担を少なくして

いるため、部活を廃止す
る予定はない。



中学校の部活は？

キックターゲットとは

いるため、部活を廃止す
る予定はない。

Q (丸山) 親子で
楽しめるフレン
ドパークのキックタ
ーゲットとは。

A (教育次長) 軟
らかいボールを
キックして、9つの
に当てて倒すスポー
ツだ。



楽しいよ キックターゲット

視察の目的は

Q (小野) 玉野市教
育委員会が視察に
来た目的は。

A (教育長) 玉野市
の教育長が非常に
先進的な本町の英語教育
に興味をもち、授業を見
せてもらいたいというこ
とだ。

変更内容は

Q (西岡) 直島ホー
ル利用規定の変更
内容は。

A (教育長) 体育館
棟と集会所棟を別
の施設と捉え、葬儀を優
先しつつも、体育館が使
用できるように変更した。

委員会レポート

2月13日、16日に合同常任委員会を開催し、各課からの現状・事業等の報告を受け、議論を交わしました。主なもののみ報告します。

総務・文教



石川 委員長

職員1人を派遣

○4月から2年間、瀬戸芸関係の職員を1人、県に派遣する。

竣工式を実施

○2月26日 消防団第5分団屯所の竣工式を実施予定。

〔総務課〕

出初式盛大に挙行

○1月14日 消防出初式を挙行。団員89人、婦人防火クラブ員17人、少年防火クラブ員9人が参加し、盛大に行われた。

〔税務課〕

○2月6日～9日 高松税務署の確定申告相談を実施。140人が来られ、大変混雑した。

土地評価方法が変更

○平成30年度から土地の評価方法が、これまでの標準地比準方式の地域と路線価方式に変更



園児による交通安全キャンペーン

になる地域とができる。

〔委員から〕変更になった地区の方に十分説明するように要望した。

〔まちづくり観光課〕

交通安全を

○12月14日 幼児学園児と交通指導員等により、交通安全キャンペーンを実施。園児らが安全運転を呼びかけ、お餅等を配布した。

観光ツアーを実施

○1月25日 福武財団の新規採用職員等を対象に直島観光ツアーを実施。当町の歴史等を話した。

〔教育委員会〕

成人式を実施

○1月6日 成人式を実施。新成人23人、保護者来賓、恩師等51人が参加

極楽寺改修工事が完了

○2月2日 文化財保護審議会を開催。会議終了後、極楽寺改修工事の確認を行った。

経済・民生



小野 委員長

〔ふれあい診療所〕

〔平成29年4月から平成30年1月〕

○外来患者

1万3418人

○一般入院

604人

○短期入所

629人

○泌尿器科

276人

○時間外救急患者

362人

〔建設経済課〕

○12月16日 コメづくりプロジェクト2017「おもちつき」を開催。

○2月1日 四国地方公共工物品質確保推進協議会が開催され、町長が出席。

宮浦港浮桟橋の大型化を検討中

小型旅客船用の浮桟橋の大型化を検討中で、大きくすることになれば、町も負担金が発生すると報告がありました。

宅地を造るよ

新規事業で積浦地区に宅地造成を行う特別会計を組み、土地を購入、それに対する登記料、実施設計費用を計上する等、説明がありました。



大きくなる？宮浦港浮桟橋

〔今後の予定〕

○2月16日 玉野市で玉野分水管更新工事協議会

○3月24日 豊島廃棄物等フォローアップ委員会

○3月27日 エコアイランドなおしま推進委員会

〔住民福祉課〕

○12月5日 歳末見舞金配布

○12月5日 介護保険事業計画等策定検討委員会

○12月6日 国民健康保険運営協議会

○1月31日 福祉有償運送運営協議会

○2月14日 民生・児童委員協議会

入院収入 多額な減額なぜ

平成29年度 予算補正

3月議会は年度末の定例議会であり、歳入・歳出とも事業等で確定したことなどによる係数整理が主なものです。

一般会計

歳入歳出予算の総額に2億5722万円を追加補正しました。

- 歳入の主なもの
- 法人町民税

3021万円追加

- 地方交付税

1億1970万円追加

- マイクロバス使用料

460万円追加

- 歳出の主なもの

- まちづくり基金へ積立

1億9996万円追加

- 財政調整基金へ積立

1億4940万円追加

- 診療所会計繰出金

1575万円減額

- 生活環境施設整備基金へ積立

1270万円追加



外国人利用者が増えた町営バス

- 観光交流施設等整備基金へ積立

799万円追加

- (石川) 社会福祉施設費で需用費追加の原因は。

(住民福祉課長)

- (A) 給水加圧ポンプ故障により、水道代が増加したもの。

(浜口) 企画費の各種事業費補助で

- (Q) 多額の減額となっている。

(まち観課長) 地域おこし協力隊起

- (A) 業支援補助で100万円、移住体験住宅整備事業補助で100万円、民間賃貸住宅借上料等支援補助で94万円の減額などが主なものだ。

業支援補助で100万円、移住体験住宅整備事業補助で100万円、民間賃貸住宅借上料等支援補助で94万円の減額などが主なものだ。

診療所事業

歳入歳出予算の総額から1169万円を減額し、2億5246万円となりました。

- 歳入の主なもの

入院収入

600万円減額



入院患者が減少している ふれあい診療所

- 外来収入

200万円追加

- 一般会計繰入金

1575万円減額

- 歳出の主なもの

- 給食調理業務委託料

137万円減額

- 点検検査手数料

259万円減額

- (Q) (石川) 一般管理費で臨時賃金の増額理由は。

- (A) (事務長) 職員1人が長期休業のため、今年2月より臨時職

額理由は。(事務長) 職員1人が長期休業のため、今年2月より臨時職

- 員1人を雇用している。

(浜口) 入院収入

- (Q) でありにも多額な減額補正となっている。

(事務長) 4〜10

- (A) 月の入院患者が前

年より減少となっている。

- (A) 引き続き経営努力する。

引き続き経営努力する。

町長に問う

2議員が登壇し町政を問いました。
内容は質問者の責任において作成しています。



西岡 議員

〔町長〕危険な道路・溝等からどう守る
危険な箇所を優先している

タ・カーブミラー等の設置が不可欠ではないか。そういった箇所を、調査・確認して実施してはどうか。

〔町長〕現在、道路や側溝等については、災害時危険箇所基礎調査や道路ストック総点検等の結果に基づき、危険性の高

町内には危険だと思われる道路・溝等があり、未然に事故・ケガ・ヒヤリハットを防ぐためにも、危険と思われる箇所に、ガードレールや溝ブ

に基つき、危険性の高



危険な箇所

い箇所を優先的に、改良・改修等をしている。
町民の安心・安全な道路環境の整備に努めたい。

報奨金交付制度の確立を

以前にもイノシシに関する質問をしたが、町長は、粘り強く数を減らすと言った記憶がある。

有志の方に、くくりわな等の資格を取っていたら、

だき、1頭捕獲したら、いくらかの報奨金を出す報奨金交付制度を確立してはどうか。

〔町長〕正確な生息頭数の把握は困難であるが、粘り強く捕

獲して1頭ずつ減らしていく。
狩猟免許取得者を増やすために、免許取得にかかる費用の補助をしている。
捕獲する頭数に応じて報奨金を出す方法は、頭数が少なく捕獲が難しいことから採用していないが、狩猟免許取得者からの要望があれば検討したい。

なぜ、まんのう町の2倍か
〔町長〕10年をかけて上げていく



松島 議員

最低のまんのう町は8万6158円で1.84倍だ。県は各市町の医療費水準や加入者の所得水準に応じて算出したと言う。

まんのう町と当町の算定根拠となった数値を明示し、納得できる説明を求める。

〔町長〕保険税率は都道府県が示す

国民健康保険料（国保税）は制度変更によって税額が高くなる。県の試算によると当町は県内最高額の15万8230円。

標準保険税率を参考に、市町村が決定する。県が示す標準税率は納付金算定基礎額を出した後、所得水準により各市町の納付金を算出した上で、医療費分については年齢調整後の医療費水準を反映させ、各市町の納付金を算出する。その後、市町ごとに加算される特定健診など保健事業の費用や出産一時金、葬祭費など独自に必要な費用と、減算される低所得者の軽減額

を補填する負担金や町に割り当てられる金額を調整して県収納額を算出する。当町は県平均所得水準の1.4倍で県平均の保険税の1.4倍となる。まんのう町は約0.99倍で県平均水準。また、両町の年齢調整後の医療水準はほぼ県平均と同じ。さらに前期高齢者交付金が平成30年度は当町800万円の返還に対し、まんのう町は約2000万円の追加交付と見込まれてい

る。これによってまんのう町の1.84倍となった。しかし、これは理論数値であり、実際の保険税とは異なる。この理論値では本年度に比して非常に高くなり、一気に上げることは被保険者への影響が過大で実施困難と考え、10年をかけて県の示す税率に到達させるよう、徐々に上げていく。このため国保会計は赤字となるので、一般会計から赤字補填する必要がある。

このコーナーは、議員が以前、一般質問や委員会などで質問した問題が、その後どうなっているかを追跡してお知らせします。

直島港ターミナル (本村港)の暑さ対策を

平成29年9月議会で直島港ターミナル内部の暑さ対策について質問をしたが、30年度予算に計上されているのか。(平成30年3月定例会 石川議員)

答 弁

平成29年度で待合室に換気扇を設置する予定だ。(建設経済課長)

換気扇で大丈夫か

換気扇などでターミナル内部のあの暑さが改善されると思うか。(石川議員)

答 弁

一度ではむずかしいので少しずつ対応していきたい。(建設経済課長)

人 事



はら たかし 氏
原 貴 氏

教育長の再任を同意

任期満了に伴う教育長に、原 貴氏の再任を同意しました。任期は平成30年4月1日から3年間

専決処分

- 歳入・歳出ともに直島
応援寄附金に関する金額
と前年度繰越金を追加す
る専決処分を、全員賛成
で承認しました。
- ◎ 歳入
 - 直島応援寄附金
4160万円追加
 - 前年度繰越金
2619万円追加
- ◎ 歳出
 - 寄附金に対する記念品
代 2080万円追加
 - 事務事業委託
539万円追加
 - 応援基金に積立
4160万円追加

条 例

- 国民健康保険条例の
一部改正
平成30年度から国民健
康保険の財政運営主体が
直島町から香川県に移る
こと、葬祭費が5万円か
ら3万円に引き下げられ
るもの。
- 介護保険条例の
一部改正
平成30年度から始まる
- 特別会計条例の
一部改正
平成30年度から宅地造
成事業を始めるため「宅
地造成事業特別会計」を
新たに設けるもの。



面村和雄 さん



西本照雄 さん



上田浩昭 さん

こちらお集まりいただき、ありがとうございます。

早速ですが、現在の活動状況はどうですか。

西本 私は、わなにかかったイノシシを鉄砲で撃つ役目です。

西村 今は有害鳥獣のみで、駆除数は月に1.5匹程度です。

上田 来年度のカワウ駆除まで活動していません。活動で何か問題はな

むから、とつてもとつても減らない。

西村 駆除に力を入れると自分の仕事ができないが、やる以上は手を抜けない。

Q 今までに危険な目にあったことは。

西本 わなにかかったイノシシが私に向かって突進してくる。ワイヤーが外れるか、弾が出なかったらと思うと恐ろしい。

上田 繁殖期頃は多く(海にエサが多い) 10月

けです。

Q イノシシは駆除のおかげで全体数が減っていると思いますが。

西村 そう思うが手を抜くとすぐ増えます。月に数匹は外から入ってきています。

Q カワウはどうですか。全体的に減っていますか。

上田 繁殖期頃は多く(海にエサが多い) 10月

手を抜くと増える

いですか。

西本 イノシシは、海を泳いで渡ってくるし、子どもを一度に3〜4匹産

西村 知らないうちに自分の足がわなにかかり、皮一枚で助かったことが何度かありました。命が

Q 現在の駆除方法や制度に対して、改善策はありますか。

西本 危険が伴うので技術と経験が必要。それに見合う技術手当が必要ではないか。

西村 少し金をかけても長期的に対策をとつても



皆さんのおかげでイノシシ等有害鳥獣が減ってきております。これからも健康管理に注意され、

ますますのご活躍をお願いし、町民が安全・安心して暮らせるようお願いいたします。本日はありがとうございました。

編集後記

多くの犠牲者を出した東日本大震災から7年、未だに故郷に帰ることができない方が7万人以上もいる。普通に暮らせているのがどれだけ幸せなことか改めて思い知らされる。南海トラフ地震に9割が不安を感じているにもかかわらず、自分の問題としての意識が低く、対策も考えていないことが分かった。30年以内に70〜80%の確率で発生すると言われていたが、あくまでも可能性だと思いたいのかもしれない。

今日・明日にも大地震が起きてもおかしくない。備えあれば憂いなし。幸せな家庭を守りたい。(浜口記)

議会広報編集特別委員会

- 議長 小林 眞一
- 委員長 丸山 義朗
- 副委員長 石川 知久
- 委員 西岡裕喜広
- 委員 浜口 敏夫
- 委員 小野 孝一
- 委員 蓬 清二
- 委員 井下 良雄

今回は、町内の農業関係で大きな被害が発生したり、バイクに追突する等問題になっている、イノシシ等有害鳥獣駆除にご協力いただいている西本照雄さん・上田浩昭さん・面村和雄さんにお話を聞きました。

皆さん、お忙しいと

